

2020年4月入学 第1回入学試験問題用紙  
Entrance Examination for April 2020 (1st Application)  
Examination Questions

岡山大学大学院環境生命科学研究科  
Graduate School of Environmental and Life Science  
(Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

専門科目 Subject
資源管理学

第1問 以下の文章を読んで、問1・問2に答えなさい。

(神戸新聞NEXT, 2017.8.30の記事を一部変更)

この記事にあるように、日本では農産物に厳しい規格を設け、規格外品が市場に出荷されることは少ない。

問1 「厳しい規格を設け、出荷量(販売量)を減少させる」ことが、生産者である農家にもたらすメリットを、農産物の需要の価格弾力性の特徴を踏まえて説明しなさい。なお、図を用いて説明しても良い。

問2 あなた自身が考える農産物規格外品の販売方法を説明しなさい。

2020年4月入学 第1回入学試験問題用紙  
Entrance Examination for April 2020 (1st Application)  
Examination Questions

岡山大学大学院環境生命科学研究科  
Graduate School of Environmental and Life Science  
(Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

専門科目 Subject
資源管理学

**第2問** わが国の農業において、担い手の確保が重要な問題になっている。下記の3つの問題に解答しなさい。

**問1** 高度経済成長期から安定経済成長期への移行の時期から、地方の都市へも企業が誘致されるようになった。このことが、わが国の農業就業にどのような影響を及ぼしたか。水田農業を中心に述べなさい。

**問2** 1985年のプラザ合意以降、わが国は円高不況に陥り、企業の生産拠点が海外に移されるようになった。企業の生産拠点の海外移転の流れは、紆余曲折はあるが、現在まで継続している。さらには、新興国の経済発展をわが国に取り込むことも、この流れを強めている。このようなトレンドが、わが国の農業就業にどのような影響を及ぼしたか。水田農業を中心に述べなさい。

**問3** 現在、中山間地域における農村の高齢化と過疎化が大きな問題になっている。他方、それに対して、各地で様々な取り組みも見られる。担い手の確保という視点から、どのような方策が考えられるのか。あなたの考えを述べなさい。